

2019年1月1日～2023年3月31日の間に 川崎医科大学附属病院・川崎医科大学総合医療センターにおいて胃 癌の治療を受けられた方及びご家族の方へ

「ヘリコバクターピロリ菌除菌治療後に発見された進行胃癌の臨床病理学的検討」へ
のご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学健康管理学 講師 村尾高久
研究分担者 川崎医科大学健康管理学 教授 鎌田智有
川崎医科大学健康管理学 大学院生 砂金 彩

1. 研究の概要

ピロリ菌（ヘリコバクターピロリ）は胃癌発生のリスクであり、胃癌発生に大きく関わっています。我が国においてピロリ菌の感染率は年々減少傾向であり、胃癌全体の発症率は低下していますが、ピロリ菌除菌治療後に発生する胃癌の占める割合が増加してきています。ピロリ菌除菌治療後に発見される胃癌の多くは早期胃癌ですが、時に進行胃癌で発見される例も少なからずあります。この研究では、過去にピロリ菌除菌治療が行われ、その後進行胃癌と診断された患者さんのデータを集めて、臨床的特徴を解析し、今後の早期発見の目安としていきます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2019年1月1日～2023年3月31日の間に川崎医科大学附属病院・川崎医科大学総合医療センターにおいてピロリ菌除菌治療後に発見された進行胃癌の治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年12月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において胃癌の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとにピロリ菌除菌治療後に発見された進行胃癌患者のデータを選び、ピロリ菌除菌治療後に発見された進行胃癌に関する分析を行い、ピロリ菌除菌治療後に発見された進行胃癌の特徴について調べます。

4) 使用する情報の種類

年齢、性別、身長、体重、body mass index、家族歴、既往歴、生活習慣、上部消化管内視鏡検査所見、血液検査、治療方法、臨床経過 等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合医療センター健康管理学医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2024年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 健康管理学

氏名：村尾高久

電話：086-225-2111 内線 48083（平日：9時～17時）

ファックス：086-232-8343

E-mail：murataka@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。